

市議会だより

令和7年9月定例会
令和7年11月14日号

No. 103

～ 武石地域の名所～



美ヶ原高原



巢栗溪谷お仙ヶ峽



信廣寺のさるすべり

写真の説明は裏表紙の編集後記をご覧ください。



議会トピックス

CONTENTS

- 令和6年度一般会計決算を審査
附帯意見を付し認定
- 議員24人が市政を問う
- 予算案賛否分かれる
反対討論・賛成討論

令和6年度一般会計・特別会計決算を審査しました！

9月定例会では、令和6年度の予算が適切かつ効果的に執行されていたか審査しました。

目次

令和7年9月定例会概要	2-5
常任委員会・一般会計決算特別委員会分科会審査概要	6-9
9月定例会一般質問	10-18
請願・陳情の審査	19
公職選挙法 / 手話を学ぼう / 編集後記	20



決算を審査

6年度一般会計決算額
入総額 802 億円
出総額 783 億円

会 期

9月1日から10月1日まで（31日間）

議 案

条例案5件、決算認定10件、予算案5件、事件決議案6件、人事案件1件、意見書1件、合計28件を全て可決、認定または適任と決定

一般質問

24人の議員が一般質問を実施▶▶▶ 質問要旨はP10から掲載

常任委員会での審査概要はP6-7に掲載

条 例

上田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定など全5件

可決

◆上田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定

児童福祉法の一部改正により乳児等通園支援事業が新設されることに伴い、同事業の設備及び運営に関する基準を定めるもの。

◆上田市農産物生産販売施設条例中一部改正

上田市真田農林産物展示販売施設の用途を廃止するため、所要の改正を行うもの。

◆上田市体育施設条例中一部改正

上田市スポーツ施設整備計画及び個別施設計画の方針に従い、上田城跡公園東テニスコート等を廃止するため、所要の改正を行うもの。

◆上田市武石温泉うつくしの湯条例中一部改正

「公の施設における使用料等の考え方」に基づき、上田市武石温泉うつくしの湯小広間の利用料金の改定をするため、所要の改正を行うもの。

他1件

事件決議

第三次上田市総合計画「基本構想」など全6件

可決

◆第三次上田市総合計画「基本構想」

◆第三次上田市総合計画「前期基本計画」

◆国補道路メンテナンス事業橋梁架替工事（越戸橋）請負契約の締結（契約金額：3億1,944万円）

◆路面清掃車の購入（契約金額：2,629万円）

◆財産の交換

◆美ヶ原台上遊歩道（木道）における転倒事故に係る和解

人事案件

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

適任

（敬称略）

和田 良一（下小島）

平林 浩（越戸）

久保田 荘司（下長瀬）

山本 秀信（下和子）

渋沢 俊道（横尾）

上野 勝裕（町原）

9月定例会 概要

令和6年度一般会計・特別会計 附帯意見を付し認定

※金額の表示単位未満は四捨五入しています。

令和
歳
歳

決 算

令和6年度一般会計決算を審査

認
定



〔上田市の決算〕



決算審査とは・・・

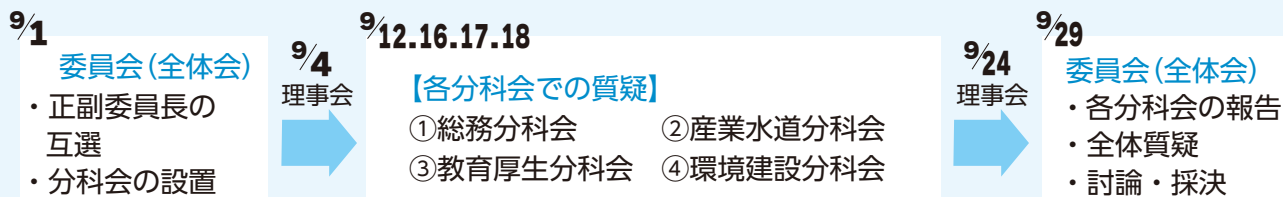
令和6年度の予算が適切に使われたか審査します。

各分科会での審査概要はP 8-9に掲載

上田市議会では、一般会計決算特別委員会を設置し、4つの分科会に分かれて決算審査を行っています。

一般会計決算特別委員会 委員長：久保田 由夫 副委員長：松山 賢太郎 委員：議長、監査委員を除く23名の議員

「一般会計決算特別委員会」審査の流れ



附帯意見を付す

決算を認定した上で、2項目について「附帯意見」を付しました。

附帯意見とは…議会または委員会において議決された事件に関して、付随的に付けられる意見です。法的拘束力を有するものではありませんが、市は意見を尊重することが求められます。

1 財政運営について

令和6年度の決算状況を見ると今後の財政需要の増加、歳入状況の停滞、基金の取り崩しを見込んだ予算編成の常態化など財政の硬直化が顕著である。

財政の将来的な見通しが大変厳しいことを全職員の共通認識とし、全ての事業の必要性、削減可能性、収益を上げられる可能性を全庁的に精査すること。また、財政調整基金、減債基金の取り崩しを極力行わない健全な財政運営に努めること。

2 行財政改革推進のための組織体制の構築について

行財政改革の推進には部局横断的な取り組みが不可欠である。全庁的な取り組みを集中的に行う部署を設置し、組織のあり方、事務の点検、職員数や施設規模の検証を行うこと。

意見書

「1件」の意見書を可決し、国へ提出しました。**「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の早期改正を求める意見書**

冤罪は、犯人とされた方やその御家族の人生を破壊し、時には生命さえ奪いかねない最大の人権侵害である。

冤罪被害者を救済するための制度として再審があるが、その手続を定めた刑事訴訟法には、再審請求手続の審理のあり方に関する規定がほとんどなく、その運用が裁判所の裁量に委ねられている。

現行法の問題点として、証拠を開示させるための明文の規定がないため、無実を示す証拠が裁判所に提出されない可能性があることや、証拠の開示までに長い年月が費やされることが多いため、再審手続が長期化することなどがある。

さらに、裁判所が冤罪の疑いを認めて再審開始決定を行っても、検察官がこれに不服申立てを行う事例が相次いでおり、冤罪被害者の速やかな救済が妨げられている。

よって、国においては、冤罪被害者を一刻も早く救済するため、以下の内容を盛り込んだ再審法（刑事訴訟法の再審規定）の早期改正を行うよう強く要望する。

- 1 実効性のある証拠開示の規定を設けること。
- 2 証拠開示制度を実効的に担保するために、捜査機関における適切な証拠の保管及び保存制度に関する規定を設けること。
- 3 再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止する規定を設けること。

意見書とは… 地方自治法第99条に基づき、市の公益に関することについて、国会や関係行政庁に対し、議会の意見をまとめて提出する文書のこと。

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情として受け付けています。

12月定例会で
審議・審査する
請願・陳情の
提出期限

11月25日(火) 午後3時

請願・陳情の出し方



議案 補正予算 概要

令和7年度一般会計補正予算 第2号を審査

可決

補正予算（第2号）の主な事業をピックアップ

工場等設置事業補助金

2,415 万円

市内公有地及び民間用地を取得し、工場増設等の設備投資を行った企業に対する補助金の追加計上。2年間の分割交付となるため、令和8年度以降の支払い分について、*債務負担行為を設定。

ゼロカーボン戦略事業

1 億 7,956 万円

脱炭素先行地域計画による交付金対象事業のうち事業者（地域エネルギー会社）が実施する事業に対する補助金の追加計上。

第五中学校改築事業

3 億 5,967 万円

令和8年度以降に係る事業費について、建築価格の高騰等に伴う債務負担行為設定額の追加計上。

電気バス導入支援事業補助金

2,250 万円

電気バスを導入するバス事業者に対する支援を行うための経費の計上。

◆令和7年度上田市水道事業会計補正予算（第1号）

補正額：980 万円（うち水道広域化事業 687 万円）

水道広域化関連に係る施設整備検討基礎調査費用（事業計画策定業務等）等の負担金の計上など。

本会議における討論

反対討論 (古市議員)	水道広域化事業は、水の自治の後退や住民サービスの低下、下水道分離による効率低下など、現時点ではメリットよりデメリットの方が大きいと考えられる。 さらには、事業検討の進め方に問題があり、市民の理解や納得が不十分なまま事業計画策定経費が計上されることは認めることができないため反対である。
賛成討論 (松山議員)	水道設備や管路の耐震化及び老朽化の更新に向けた更新計画、出資金の金額、広域化後の運営組織体制など、現在、情報が不十分な課題に対して積極的に協議し、事業内容や予算を明確にした上で、上田市にとって広域化が必要か否か議論を進めるべきであるため賛成である。

採決結果

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議：議長（議長は表決に加わりません）

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
第86号	欠員	泉 弥生	村越 深典	中村 知義	武田 紗知	飯島 裕貴	古市 順子	松尾 卓	金沢 広美	松山賢太郎	高田 忍	西沢 逸郎	矢島 昭徳	堀内 仁志	石合 祐太	斉藤 達也	齊藤加代美	井澤 毅	久保田由夫	池上喜美子	半田 大介	欠員	宮下 省二	金井 清一	飯島 伴典	池田総一郎	佐藤 論征	土屋 勝浩	尾島 勝	欠員
	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	○	○	○	○	欠	○	議	○	○	×	○

*議員氏名の上の数字は議席番号です。

*債務負担行為…将来の支出をあらかじめ約束する行為。次年度以降に経費の支出（＝債務）を義務づけるような契約を締結する時に用いる。

総務委員会

●9月12日・16日に開催し、決算認定1件、予算案1件、事件決議案3件、請願1件の審査を行いました。

第三次上田市総合計画「基本構想」

問 将来都市像及びキャッチフレーズについて、各部署の共通認識のもと作成されたものとなっているか。

答 将来都市像及びキャッチフレーズについては、審議会での意見に加え、小・中・高校生の思い等を取り込んで設定した。原案の作成時には庁内策定会議を開催し、庁内で意思を統一した上で審議会に臨んでいる。また、審議会の委員からも掲げた思いは市民の声であり、しっかりと受け止めた上で今後の10

年間、上田市の全ての人が幸せを実感するまちづくりを進めて欲しいとの意見をいただいており、重く受け止めて今後事業を進めていく。

第三次上田市総合計画「前期基本計画」

問 第1編、第3章、第1節の「達成度をはかる指標・目標値」の将来負担比率について、令和6年度決算の22.1%に対して、目標を令和12年度決算で50%未満と設定した理由はなにか。

答 今後実施予定の資源循環型施設建設に伴う上田地域広域連合負担金の増加及び基金の減少等を考慮したものである。

産業水道委員会

●9月17日・18日・19日に開催し、条例案4件、決算認定3件、予算案2件、事件決議案2件の審査を行いました。

水道事業会計補正予算第1号

問 水道広域化関連に係る施設整備検討基礎調査の内容はどうか。

答 今後50年間の水需要の予測、給水人口等を設定しエリアごとの給水量を算出する基本事項の精査、管路二重化の布設ルートの精査、水理計算、概算事業費の算出等を実施する。

問 基礎調査の結果について、市民の意見を聞く機会を設ける考えはあるか。

答 また、調査が進むことで広域化の方向に決まってしまうので

はないかという声もあるが、仮に上田長野地域水道事業広域化協議会を脱退となった場合、どのように他の構成団体の承認を得るのか。

答 調査結果について、市民に丁寧に説明をする中で意見をお聞かせいただき、市の方向性を検討していきたい。

また、協議会の規約の中に脱退に関する条文があるが、上田市の要望により加えられた条文となっている。仮に、脱退となった場合には、首長等が出席する協議会の場で他の構成団体に報告することで脱退できると考えている。

「常任委員会」では、条例、特別会計決算、補正予算、事件決議など一般会計決算以外の議案の審査を行いました。



第三次上田市総合計画「二期基本計画」

交通事故のない安全な社会の構築の目標値として、自転車用ヘルメットの着用率を35%としているが、目標の達成に向けて、ヘルメット購入費補助事業の対象拡大を検討してはどうか。

また、着用の推進はどのように進めていくのか。

ヘルメット購入費補助事業は自転車運転中の重傷事故の割合が高い高齢者を対象として重点的に取り組んでいるが、対象の拡大については、今後の法改正の動向を見極めながら、慎重に検討していきたい。着用の推進は、広報、ホームページの活用による周知を積極的に行っていく。

●9月17日、18日に開催し、決算認定1件、予算案1件、事件決議案3件の審査を行いました。

一般会計補正予算第2号

電気バス導入支援事業補助金

2,250万円が計上されているが、事業効果と課題はどうか。

事業効果は、二酸化炭素排出による環境負荷の低減、災害時における緊急時対応、非常用電源装置としての活用及び車両整備費用の削減等が見込まれる。また、課題は10年単位で高額なバッテリー交換の費用が想定されることだが、対策として10年及び80万キロで容量維持率70%保証のバッテリー搭載車両が導入される予定である。

した大きな要因として、参加された方の□□コミ等が考えられる。

一般会計補正予算第2号

部活動の地域展開に向けた準備を進めるため、地域クラブ創設支援事業補助金が計上されているが、どのような団体が支給対象となるか。

令和8年度から活動を開始する先行実施団体であり、「学校単位ではなく、クラブチームとして中学校体育連盟に登録し、大会参加をしているクラブ」や「学校の部活動から展開されるクラブ」、「その他既存クラブ・新規設立クラブ」などを想定している。

●9月12日・16日に開催し、条例案1件、決算認定4件、予算案4件、事件決議案1件、請願1件、陳情1件の審査を行いました。

介護保険事業特別会計決算認定

介護予防体操について、具体的な取組内容はどうか。

また、令和6年度の参加延べ人数が令和5年度と比べて2,000人近く増加しているが要因は何か。

スポーツインストラクターやリハビリに長けた方などを講師としてお迎えし、中央公民館や丸子総合体育館などで開催している。

また、広報つえだなどで参加の呼びかけを行っているが、増加

教育厚生委員会

環境建設委員会

総務分科会

●9月12日・16日に開催しました。

問

令和6年度決算状況について、実質単年度収支が3年連続の赤字、経常収支比率も過去最高の93.4%と財政の硬直化が顕著となり、財政調整基金・減債基金の枯渇が懸念される中、来年度の予算編成に向けてどのように対応していくのか。

また、厳しい財政状況について、全庁で意識を共有する必要があると考えるがどうか。

答

令和8年度当初予算編成においては、従来の予算編成方法を見直し、一般財源ベースの要求上限額を設ける枠予算を拡大し、全ての事務事業に対して徹底した見直しを行うよう全庁に働きかけを行っていく。

問

全庁での危機感の共有については、来年度の当初予算編成の時期に、外部から講師を招き、課長・係長を対象とした研修を実施するなど、意識の共有を図っていく。

財政状況が厳しい中、財政運営の見直しだけでは限界がある。

財政だけではなく、公共施設の活用や民間との連携など行財政一体となった改革を行う組織体制が必要と考えるがどうか。

答

市長が一般質問で答弁したように、財政だけでなく行財政一体となつて全庁的に改革に取り組むことも必要だと認識している。

※関連する附帯意見は3ページに掲載

産業水道分科会

●9月17日・18日に開催しました。

問

学生等地域就職促進奨学金支援事業補助金について、評価はどうか。

答

本補助金は、中小企業等の人材確保、若い世代の定住促進を目的とし、従業員にとって働きやすい職場環境を整備している中小企業等へ就職した若者の奨学金返還にかかる費用について補助金を交付している。

従業員本人に年間最大10万円を5年間支給しており、非常にありがたい制度であるという声をいただいている。また、企業からも従業員の採用または定着を図るインセンティブになるという評価をいただいている。

問

上田ファンクラブサイト構築業務について、登録者数はどうか。また、ほかのホームページとの関係はどうか。

答

本サイトは令和7年1月に開設し、令和7年3月末で352名の登録となっており、今後も目を引く企画を継続し、飽きがないよう内容の充実を図っていく。

また、本サイトは、上田市のファンの獲得を目指し、観光面に限らず市の魅力の発信に主眼を置いた運用を目指している。観光面を担う信州上田観光協会の公式サイトとすみ分けをして運用していきたい。

上田市公式ファンコミュニティ「うえだUP!」





「一般会計の決算議案」は特別委員会を設置し、その中に常任委員会を単位とする分科会を設けて審査を行いました。

●9月12日・16日に開催しました。

問 ふれあい福祉センターの施設整備について今後の予定はどうか。

また、耐震化をはじめとしたリスク管理について考えはどうか。

答 ふれあい福祉センターについては、資源循環型施設の関連施設として位置付けていたが、市街地から遠く、交通の便が悪くなるなどの理由から、建設場所の見直しや高齢者福祉センターとの合築を含めて再検討している。

また、市内には耐震化されていない施設が多く存在するなどリスク管理に関して同じ課題を抱えている施設も多いため、

全庁的に議論を行い、方向性を示せるよう検討している。

問 上田看護専門学校運営費補助金について、令和6年度は約2,200万円を支出しているが、近年、看護師不足ということを言われている中で、学生を集める取組として行っていることは何か。

上田看護専門学校の認知度を上げるために、テレビコマーシャルや民間バスを活用した広告の実施、医師会長等による高校訪問などの取組を行っている。令和7年度からは、通学費補助や駐車場代補助などの学生支援を実施し、ホームページ等で周知することで、学生確保に向けた取組を進めている。

●9月17日・18日に開催しました。

問 ふるさと上田応援寄附金推進事業について、返礼品のチェック体制はどうか。

また、令和6年度の寄附額は5億1,000万円余となっているが、ふるさと納税による市税の流出状況はどうか。

返礼品の確認事務は、国の制度変更により厳格化されていることから、学習機会の創出により職員の誤認防止に努めるとともに、事業者への必要な調査及び確認を定期的に実施している。

また、ふるさと納税による市税の流出額は、令和5年中の寄附に対する令和6年課税における減額分は2億8,000万円

余だが、流出分は普通交付税で一部補填されることから、実質的な流出額は7,000万円余となっている。

問 空家等実態調査について、結果はどうか。

また、今後の空家対策にどう活かしていくか。

答 調査によつて3,411戸の空き家があることが判明した。このうち2,566戸の空き家は、管理状態が比較的良好なことから、所有者等に対し第三者への情報提供の同意を得た上で、売買又は賃貸を目的とした空き家情報バンクへの登録などにより早期の市場流通へつなげていきたいと考えている。

24人の議員が市政を問う

9月定例会一般質問要旨

答弁者名は以下のとおり省略して記載しています。

答弁者役職	略称	答弁者役職	略称
市長	市長	教育長	教育長
政策企画部長	政策企画	総務部長	総務
福祉部長	福祉	健康こども未来部長	健康こども
産業振興部長	産業振興	文化スポーツ観光部長	文化スポーツ
都市建設部長	都市建設	消防部長	消防
真田地域自治センター長	真田センター	武石地域自治センター長	武石センター
教育次長	教育次長	上下水道局長	上下水道
選挙管理委員長	選挙管理		

掲載記事は、質問議員本人が作成しており、質問全体の一部を要約したものです。
質問全体の内容については、会議録に掲載しています。会議録は、議会事務局、市内図書館、公民館及び上田市議会ホームページからご覧いただけます。
なお、一般質問は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により、生放送と録画放送を行っています。

インターネットの生中継、
録画配信専用サイトはこちら。



※二次元コードから各議員の質問の映像を見ることができます。



矢島 昭徳 上志の風



安全安心な消防資源

問 消火栓が接続されている水道管路の状況と災害対応はどうか。

答 (消防) 詳細は把握していないが水道事業者と情報共有を図っていく。大地震時は消火栓の利用が困難になる恐れがあるため耐震性を有した防火水槽の整備や自然水利活用を進め、地域の水利確保を消防団等と連携して強化する。

問 市内における水道設備の状況はどうか。

答 (上下水道) 管路の更新率や耐震化率が全国平均を下回り、浄水場の老朽化も進んでいる。基幹管路は平均を上回る整備が進んでいる。計画的に更新を図り、安全で安定した水道供給を進めていく。

問 水道事業広域化協議会での対応はどうか。

答 (上下水道) 市民の皆様にも、安全で安心な水道水を将来にわたって安定して提供できるよう、引き続き構成団体との協議に臨む。

【その他の質問項目】

・上田市のコメ政策



池上 喜美子 公明党



教員の働き方改革

問 コミュニティスクールを通じた教職員の負担軽減の現状と課題、取組はどうか。

答 (教育長) コミュニティスクールの取組は、教職員の負担軽減、働き方改革につながるが、多くの人と学校をつなぐコーディネーターの役割を教職員が担っている場合の負担感やボランティアの固定化、高齢化など課題もある。教職員の抱える様々な業務は、専門的な知識

や技術を持った方に相談し、サポートしていただく助けられる。市内には、学校運営委員会に全職員が出席しテーマごとにグループで学校の課題や困りごとを出し合い、何ができるか話し合う機会を設ける取組や地域の応援団や民生委員が課題を共有し、一緒に学校づくりに参画するなど参考になる取組例もある。学校の状況に応じた伴走支援ができるよう情報収集や情報提供など行っていく。

【その他の質問項目】

・情報リテラシー教育

・サントミューゼ(上田市交流文化芸術センター)



斉藤 達也 新生会



子どもたちに胸を張れる財政か？

問 監査委員は、①実質単年度収支が3年連続赤字で拡大、②経常収支比率93.4%で過去最高、③基金も10年で枯渇見込みと指摘した。これは予測できた未来である。現状は未来の市民や子どもたちに本当に胸を張れるものか。

答 (市長) 監査委員からの指摘については、私たちも大変強く心に刻んでいる。経常収支比

率は、人件費等が膨れ上がっているのは確かである。基金は、「このまま行けば」10年後に枯渇する見込みということであるので、そうならないようにしていく。また、基金を活用して、いかに収入を増やしていくかということも指摘されている。それらをしっかりと受け止めて、これから対応していくというのが現在の状態であり、ご理解をお願いしたい。

【その他の質問項目】

・ 地域の声を市政に生かす仕組みの提案



松山 賢太郎 社志会



医療・介護・福祉の総合情報共有化

問 2026年度以降に市町村が中心となって整備する介護情報基盤の準備状況はどうか。

答 (福祉) 介護保険証や限度額認定証などの各種様式も含め、国の定める標準準拠システムへの移行対応を8月に完了している。データを送信するシステムも今年度中に改修予定であり、早ければ来年度にも共有開始する。

問 既存システムを最大限活用して上田市独自の

医療、介護、福祉、行政での情報共有化システムを一刻も早く構築すべきではないか。

答 (健康こども) いち早く環境整備する重要性は理解しているが、現段階では国から示されている様々な情報を注視しながら国の方針に沿って進めていきたい。

(福祉) 地域包括ケアシステム活用のために独自でシステムを導入している自治体はあるが、国における包括的な情報共有システムが構築された中での情報活用を検討していく。



尾島 勝 新生会



実施計画

問 上田市財政は自治体サービスを維持する費用で目いっぱい、投資的経費を出せる余地がない状況にある。市長直轄の強固な行財政改革推進組織を早急につくるべきではないか。

答 (市長) 経常的経費の増加により、政策的経費に充当可能な財源が縮小している。現体制の見直しを図り、市長直轄組織を含め、行財政改革を一層強力に進めることができる組織

体制の構築に向け尽力する。

問 老朽化した上田城跡公園体育館について、建替えを含め、今後の方針はどうか。

答 (市長) 現地建替えが有力な選択肢である。今後の部活動の地域展開等も考慮し、総合体育館の利用状況を把握した上で、より具体的な実施計画を令和8年度に向けて策定する。

問 脱炭素社会の中、新焼却炉の余熱を活用した高齢者福祉センターをつくるべきではないか。

答 (市長) 高齢者福祉センターは資源循環型施設建設には関連せず、総合福祉センターとして立地も含め再検討する。



飯島 裕貴 新生会



高次脳機能障害への支援

問 相談状況はどうか。

答 (福祉) 相談は、主に拠点病院のほか、家族や療養中の医療機関等から福祉制度やサービス利用に関する項目が多く、支援関係者と情報共有しながら、地域で生活ができる環境整備に向けたサポートを行っている。

問 就労支援事業に関する取組、現状はどうか。

答 (福祉) 市内には、職場体験や復職支援を行

う就労移行支援事業所が3か所、就労継続支援事業所が30か所ほどあり、就労及び職場定着に向けた支援が提供されている。上小圏域障がい者自立支援協議会や障害者就業・生活支援センターSHAKE、ハローワーク等が連携して一般企業などを対象とした研修会を開催し、高次脳機能障害を含めた障がい者雇用の促進、就業機会の拡大に向けた取組を行っている。

【その他の質問項目】

・令和6年度決算



高田 忍 壮志会



武石地域の災害時における代替交通ルート

問 武石地域の災害時における代替交通ルートについて、市の見解はどうか。

答 (都市建設) 令和元年東日本台風で、武石川に架かる武石新橋の右岸橋台の背面が崩落したことにより、約1週間車両の通行止めが発生した。この重要な課題を踏まえ、長野県上田建設事務所との協議を行い、既存の各種道路の活用を含めた迂回ルートの調査や複数の

ルート案を検討した。道路新設が必要となる武石川左岸は、一部急峻な山が武石川まで迫るほか、全体的に急斜面であり多額の費用が必要となることから困難である。ソフト面では指定緊急避難場所である築地原トレーニングセンターの備蓄品を充実させる等の取組も行っている。より災害に強い地域とするため、同橋の維持に必要な河川整備について、長野県と引き続き連携を密に取り組んでいく。

【その他の質問項目】

・所有者不明土地

・ご当地ナンバー（上田ナンバー）



古市 順子 日本共産党上田市議団



水道事業広域化

問 事業計画策定は基本計画に合意した上で行うこととなっているが、今定例会には広域化関連の調査費用・事業計画策定業務等の負担金が計上されている。市長は基本計画に合意すると判断したということか。

答 (市長) 基本計画案の合意については、今の段階では判断していないが、今後これまでの経緯を踏まえて庁内で検討し、早期に判断し

ていきたい。

問 事業計画は令和8年度から16年度の実施を想定しており、開始時期、経費も不透明であるが、上田市にとって本当にメリットがあると考えているか。

答 (上下水道) 今後はより現実的に即した事業計画策定に取り組み、老朽化施設の更新や耐震化といった喫緊の課題に十分計画的に対応できる可能性や各団体の財政負担の在り方も含めて十分に検証し、上田市にとって広域化による効果が真にあるのかどうかを見極めていきたい。



中村 知義 上志の風



建設分野における電子化とDX化

問 建設業者も利用できるシステム導入と研修をセットで行い、官民一体でDXを進める考えはあるか。

答 (都市建設) 公共工事における建設DXの積極的な導入に向けた検討を進め、建設、測量、建設コンサルタントなど関係業界の技術力向上、取組意欲の向上を図るため、庁内関係部局と連携しながら、システムの導入や効率的

な研修の実施について検討していく。

問 DX推進課が戦略や国との調整を担い、交付金などを積極的に獲得していく考えはあるか。

答 (政策企画) DX推進課は、全体のアンテナを高くしつつ、調整役、牽引役として情報提供や庁内連携を支援する役割と考えており、交付金においては、関係部署が連携を図るとともに、事業の有効性を検証した上で、貴重な財源として最大限活用していく。

【その他の質問項目】

・丸子・武石地域の公共交通



武田 紗知 上志の風



ランナーを取り巻く環境

問 菅平高原陸上競技場の市における位置付けと市民利用の課題は何か。

答 (真田センター) 標高 1,300m に位置する市内唯一の第3種公認施設で、全国から約2万人が訪れる重要拠点である。市民利用は小中高生中心で、令和6年度は826人、全体の3.8%であった。市街地から遠く日常利用しにくいことに加え、夏季の混雑や利用時期が春

から秋に限られる課題がある。

問 日常的に使いやすいエリアでの全天候型施設の整備計画はどうか。

答 (文化スポーツ) 城跡公園陸上競技場の整備は現状維持としており、全天候型改修の具体的な計画はない。ただし全国的な標準整備であることは認識しており、令和10年までに策定される次期上田市スポーツ施設整備計画で市民ニーズや財源を踏まえ検討する。

【その他の質問項目】

・「一度じゃ終わらない上田の旅」

・廃食油を資源にする取組



松尾 卓 公明党



地域振興と命を守る取組

問 猛暑が常態化しており、利用者の命を守るため、学校や地域の体育館へのエアコン設置は早急に対応すべきだが、市の見解はどうか。

答 (文化スポーツ) 既存体育館の老朽化から、エアコン設置は技術的・財政的な課題に加えて、今後の改修計画との整合を図る必要があり、早急に設置することは困難である。

問 スポーツ施設の充実が市政の選択と集中や効

率化により予算確保するべきであり、市長のリーダーシップが問われている。厳しい財政の中、予算確保について市長の見解はどうか。

答 (市長) 今後、優先順位を明確にした具体的な体育館の設備や改修計画を定め、冷暖房設備の設置を含めたスポーツ施設の熱中症対策の財源を生み出すことを幅広く深めていく。

【その他の質問項目】

・大きな被害が想定されている地域へのトイレトレーラー等の導入

・武石地域のオンライン診療の導入



堀内 仁志 上志の風



市の不登校問題への取組

問 令和6年度、市内小中学校の不登校児童生徒数は591名であるが、不登校の要因とその割合について市の見解はどうか。

答 (教育長) 小学校、中学校の順で、友人関係が11%、14%、学力不振が14%、15%、不安が22%、23%、やる気が出ないがともに32%、生活リズムの乱れが24%、21%となっている。不登校の要因は共通する要因

があると捉えることはできず、一人一人異なっていると考えている。その児童生徒に応じた環境を整えていく。

問 第三の居場所の存在は、不登校に陥った一人の人間の社会的自立に対し、どう影響を及ぼすと考えているか。

答 (教育長) 安心できる居場所の中で、自分のできることを自分のペースで取り組むことができ、できたことが認められる。そのことで自尊心が高まり、それが次の活動へ向かう意欲を創出する。その積み重ねが社会性を育むと考えている。



齊藤 加代美 新生会



美ヶ原高原振興の仕組みづくり

問 令和6年度には53万人が訪れ、県内トップの伸び率を誇る美ヶ原高原で、いち早く稼ぎ市の財源へと転嫁していくべきと考えるが、もうかる仕組みづくりについて展望はどうか。

答 (武石センター) 道の駅及び美術館を訪れた観光客は約18万人であり、前年度比20%増となった。道の駅の駐車場とトイレについ

ては、有料化へ向けた事業展開も含めて検討を進める。市所有の土地に残存する廃墟化した建物は、本年度建物解体の実施設計を進めている。また、現在民間事業者の活用に向けて『天空の絶景・美ヶ原高原における魅力的な拠点開発』をテーマに提案を募っている。上田駅と美ヶ原高原を結ぶ直行バスの運行においては、900人を超える利用があった。ポテンシャルのある立地特性を捉え、市の収入増につながる施策について取り組む。

【その他の質問項目】

・物価高騰に伴う低所得世帯支援



半田 大介 公明党



政治家の寄附行為と法令遵守

問 寄附行為が禁止されている政治家とは誰か。

答 (選挙管理) 公選で公職につく者、立候補の意思がある者で立候補予定をSNSで表明、地域や所属団体内等で周知している者、また、財産区議会議員も対象となる。

問 会費の明記がない飲食を伴う会合等に招かれた場合、政治家が主催者に実費相当分を支払うことは寄附行為となるか。

答 (選挙管理) 実費相当かどうかに関わらず、金銭を支払う場合は寄附に該当する。

問 政治家に対して寄附を求める行為は禁止とされるが、例えば神社仏閣の修復、学校の周年記念事業、自治会が行う行事での金品の差し入れ、慈善団体、ボランティア団体、クラウドファンディングへの寄附・出資などを求められることはどうか。

答 (選挙管理) 規制対象で寄附行為となる。年齢や居住地に関係なく全ての個人、団体等が公職者等に不安を抱かせるような言動等で寄附を勧誘・要求した場合は罰則が科される。



村越 深典 社志会



市営住宅の展望

問 市営住宅の建て替えについてどのように考えているか。また、どの程度の団地数、戸数が適当と考えているのか。

答 (都市建設) 将来的な市営住宅の団地数、戸数について、上田市市営住宅等長寿命化計画では、計画の最終年となる令和9年度末における目標管理戸数を1,217戸と定めている。また、長野県が令和4年3月に策定した長野

県営住宅等長寿命化計画によると、令和12年度末時点で、県営、市営を合わせた上田圏域の目標管理戸数を2,796戸としている。なお、市では現行の上田市市営住宅等長寿命化計画の計画期間が満了する令和9年度中に次期計画への改定を予定している。計画改定に当たり、県と協議しながら、社会経済情勢等の変化を踏まえた中長期的な視点で、将来必要とされる住宅確保要配慮者数を見込んだ目標とする戸数を改めて設定する。



佐藤 論征 新生会



小中学校の在り方

問 少子化が急激に進む中、児童生徒の学ぶ環境を維持確保し、将来を担う児童生徒に負担を強いることのないよう小中学校の統廃合並びに小中一貫校の検討は急務である。実施するにあたっては、多くの時間を要することから早急に進めるべきではないか。特に小中一貫校は非常に有効と考えるがどうか。

答 (教育長) 小中一貫教育の導入を含めた学校

の在り方全般について、地域ごとの特色などを踏まえ、保護者や地域と丁寧に懇談しながら、慎重に進めていかなければならないと認識しているが、喫緊の課題であり、先送りすることはできない課題である。令和3年に策定した基本方針からさらに踏み込み、向こう20年、30年先の将来推計や統廃合を検討し始める基準の設定など、さらに具体的に進める。

【その他の質問項目】

- ・ 国土強靱化
- ・ 令和6年度決算



飯島 伴典 上志の風



持続可能な都市経営と新たな可能性

問 市民サービスを低下させることなく財政の持続可能性をどう確保してきたか。

答 (市長) 子育て支援や健康福祉など重点分野へ配分し、公共施設の集約化などを進めた。ビルド・アンド・スクラップを導入、将来世代に負担を残さない選択と集中を行ってきた。

問 企業誘致の進捗と成果はどうか。

答 (産業振興) 工場等設置の助成件数は4年間

で17件となり、令和7年度末の目標を前倒しで達成した。市外2件は操業を開始し新規雇用を創出、市内15件は増設等により定着を促進した。製造品出荷額は平成25年の3,938億円から令和5年には5,815億円に増加している。

問 救急医療体制の現状と今後はどうか。

答 (市長) 病院間で医師派遣や転院を円滑に行うための連携協定を締結する「上田スタイル」により体制強化を図り、初期救急センター移転や周産期医療の充実により、安心できる環境整備を進めている。



宮下 省二 社志会



備えあれば憂いなしの施策

問 河川氾濫に伴う床下浸水を防止するため土のう制度を検討し市民に供する考えはどうか。

答 (総務) 洪水等の災害時に住民自らが、土のうを活用できる体制の整備は、地域ごとの状況や必要性などを踏まえ、制度化に向けた検討に取り組んでいきたい。

問 大雨時のダム等の事前放流の課題はどうか。

答 (産業振興) 内村ダムは、一定の降雨量が見

込まれる場合は事前放流しているが、農繁期に備えて貯水量を確保するため、利水に必要な水量との調整が大きな課題となっている。

問 災害を繰り返すアンダーパス（しなの鉄道天神ガード下）の排水管理対策はどうか。

答 (都市建設) 県と連携し、ハード面による排水対策と、自動車の侵入を防ぐための通行止めのソフト面での対策も検討を進めたい。

問 突風に伴う危険空き家の検討状況はどうか。

答 (都市建設) 危険空き家の実態の把握や自治会等との課題共有を図り、適切に管理する必要性を周知するとともに情報を提供したい。



西沢 逸郎 社志会



信州上田医療センター

問 地域がん診療連携拠点病院に指定が変更され、どう変化したか。またがん診療について市として市民にどう関心を持ってもらうか。

答 (健康こども) 本年4月に県内8か所目となる地域がん診療連携拠点病院に指定が変更され、今までは他の地域の医療機関へ通う必要があったがん診療の多くが、信州上田医療センターにおいて適切な診療が受けられるよう

になったと受け止めている。また、がん相談支援センターを通じて、信州大学医学部附属病院との連携を行い、受診やその後の療養等についても支援するなど、地域住民の皆様が安心して医療を受けられる体制づくりが一層進められていると認識している。市としては、引き続き、がん市民公開講座の共催等を通じて、市民の皆様にごがん診療に関心を寄せていただけるよう周知に努めていく。

【その他の質問項目】

- ・外国人の方との共生社会の実現
- ・小・中学校のいじめ対策（寝屋川モデル）
- ・太郎山山麓の環境問題



泉 弥生 日本共産党上田市議団



こども誰でも通園制度

問 障がいのある子どもや医療的ケアの必要な子どもには加配措置が必要だが、対応はどうか。

答 (健康こども) 障がいのある子どもの受入れは、状況に応じ保育士の配置、医療的ケアが必要な子どもを安全に受け入れるには、看護師の配置が必要だが、まずは通常保育において受入体制を整え、その後、こども誰でも通園制度の受入体制でも検討する。

問 広域利用も可能だが、趣旨を考えれば、里帰り出産を除いては、市民を優先するなどの工夫が必要であるが、見解はどうか。

答 (健康こども) 各自治体からは市民を優先する必要があるという声が上がっており、国では広域利用の取扱いについて、再度検討している。国の検討結果を注視し、市民が優先して利用できる方法等について検討していく。

問 保育士に新たな負担のないよう、事務を勤務時間内に行う方法について、考えはどうか。

答 (健康こども) 保育士に過大な負担が生じることのないように、努めたいと考えている。



土屋 勝浩 新生会



信州オープンドアスクール

問 設置検討会議を通して、市の目指すべきオープンドアスクールの方向性は見えてきたか。

答 (教育長) 学校運営に関する構想については、分校型で本校となる中学校の近隣設置が望ましいこと、公共交通の利便性が高く、アクセスしやすい場所に設置すること等を提案いただいた。市はそれを基に検討を進める。

問 令和9年4月の開校を目指すということだ

が、設置場所はいつまでに決めるつもりか。

答 (教育次長) 幾つか立地条件に該当する建物を確認したが、改修費用やスペースの確保等の問題があり、現時点で設置場所の選定期間を明言することはできない。

問 リーダーとなる教頭は早期に任命すべきと考えるが、人選はどこまで進んでいるのか。

答 (教育長) 長野県教育委員会では、市町村の提案テーマに応募した教員の状況を基に、人事異動を行う制度がある。開校の際には、この制度も活用し、目的を明確に持ったやる気ある教員を募集したい。



石合 祐太 新生会



SOSをキャッチできる上田市に！ 自殺予防対策の強化

問 上田市における自殺の傾向をどう分析しているか。

答 (健康こども) 令和6年までの過去10年間の自殺者数は271人で、働き盛り世代の男性が多い傾向である。

問 市ホームページのトップ画面に心の相談情報を掲載できないか。

答 (健康こども) 周知など効果が期待でき、表示方法の工夫も含め取り入れを検討する。

問 心の健康づくりや相談窓口情報の検索ができるアプリや検索連動型広告を導入する考えはあるか。

答 (健康こども) 必要な支援に向け有効と考えるが、費用面などの課題から当面は県が実施している検索連動型広告の周知を図りたい。

【その他の質問項目】

・日本人ファーストなる言説への見解

本会議をぜひご覧ください。

Q 傍聴ができる方は？

A どなたでも議会の傍聴ができます。お子さんも一緒に傍聴ができます。車いすスペースもあります。

Q 事前の手続きは？

A 市役所本庁舎5階の議会事務局で受付をしてください。

Q 予約は必要？

A 必要ありません。(大人数で傍聴にお越しの際は事前にご相談ください。)

Q 満席時やお子さんが泣いてしまった時は？

A 議場には入れませんが、議場外に設置のモニターで視聴できます。

Q 音が聞こえにくい場合は？

A 議会事務局にてヒアリンググループ受信機(耳に装着、音量の調整可能)を貸し出しております。



傍聴席 30席

12月定例会は**11月21日** 金 開会予定です。

日程が決まりましたら、11月中旬に市議会ホームページに掲載します。





井澤 毅 新生会



水道事業の広域化

問 審議会での「上田市民を守る水道サービスの持続と水道広域化の検討課題」と題した資料では、50年後の給水原価が上田市単独の場合 1㎡当たり 300.23 円、上田長野圏域が 366.60 円、事業統合して交付金を活用した場合でも 322.73 円と上田市単独が一番安い試算結果となっている。これまでの説明と違うがなぜか。

答 (上下水道) 県環境部が作成した資料に基づくもので、北は信濃町から南は長和町までの企業局を含む 14 団体を統合した場合の 50 年後の給水原価の比較であり、上田市単独の方が安くなるとの試算結果が示されている。

問 50 年後の試算まで行っているということは、今回の広域化の計画は将来的に 14 事業体まで伸ばしていく道筋があるということか。

答 (上下水道) 現在のところは 14 圏域まで目指してはいないが、まずは中核となるところをしっかりと作り、その上でどのような連携をしていくか今後詰めていくことになる。



金沢 広美 公明党



循環型農業と稲倉の棚田支援

問 循環型農業推進に向けた市の取組はどうか。

答 (産業振興) 兼業でも参入可能な農業形態(スポットワーク)の導入について、JAが事業者と業務提携を行い、農家が活用しやすい環境づくりをスタートした。人材確保の一つであり、市も育成に努めていく。また、畜産堆肥や微生物資材の活用は環境負荷の低減に効果のある重要な取組である。みどりの食料シ

ステム戦略も踏まえ、地域内での資源循環を促す仕組みづくりについて、関係者と検討を進める。

問 稲倉の棚田保全委員会が法人化した場合の支援について、考えはどうか。

答 (産業振興) 関係者と連携し、棚田の持つ良好な景観や豊かな自然環境など多面的機能を活かし、付加価値の向上や収入の確保に向けて継続的に支援を行う。

【その他の質問項目】

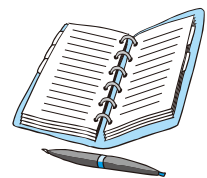
・微生物の持つ力と活用

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想をいただきました～

9月定例会本会議の傍聴者数は延べ65人でした。
傍聴された皆さんから寄せられた、ご感想やご意見の一部を紹介します。



- 多くの市民が傍聴できるよう1日だけでも土日祝日に行ってはどうか。
- 提案者、答弁者の内容が長すぎる。もう少し簡潔にした方が理解できると思う。
- マイクの音量が小さく、耳が悪いのでほとんど聞き取れませんでした。

回答 議会事務局にてヒアリンググループ受信機(耳に装着、音量の調整可能)を貸し出しておりますので、ご利用をご希望される方はお気軽にお声がけください。

皆さんからの請願・陳情 3 件を審査

請 願

請願番号	件 名	提 出 者	審査結果
請願第 2 号	「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書採択の請願	上田市教職員組合 執行委員長 宮澤 裕子氏 (紹介議員：古市 順子議員)	継続審査
請願第 3 号	「再審法の早期改正」を求める意見書採択の請願	長野県弁護士会 会長 齋藤 泰史氏 (紹介議員：土屋 勝浩議員)	採択

※関連する意見書は P 4 に掲載

陳 情

陳情番号	件 名	提 出 者	審査結果 (付託委員会)
陳情第 8 号	生徒会等役員選任において、生活困難生徒の負担軽減を求める陳情	瀧澤 史貴氏	不採択 (教育厚生委員会)

議会 トピックス

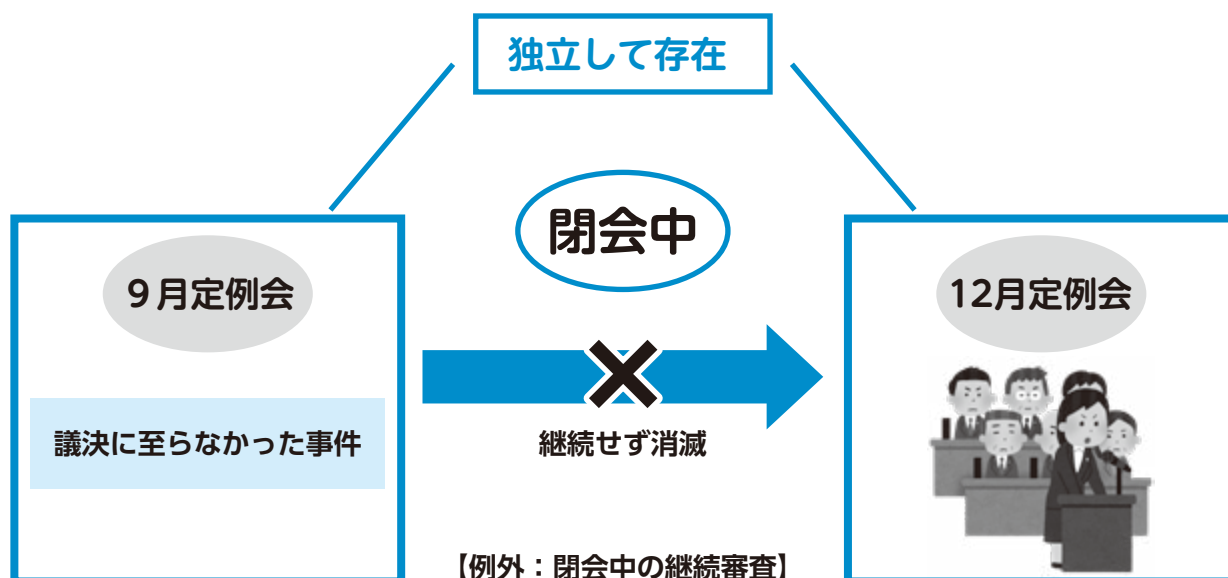
知ってるようで知らない？

市議会のしくみ

会期不継続の原則、
継続審査とは

議会は会期ごとに独立しているため、議決に至らなかった事件は当該会期の終了とともに消滅し、のちの会期に引き継がれない原則（「会期不継続の原則」）があります。

しかし、例外として付託された委員会が会期中に議案の審査を終えることが困難な場合、本会議の議決によって議会閉会中に審査を行うことができます。このように閉会中の審査を行うことを「継続審査」と言います。



公職選挙法の禁止事項について

～市議会議員が寄附することも、また、市議会議員に対して 寄附を求めることも禁止されています～

公職選挙法上、市議会議員が選挙区内にある者に対して、寄附を行うことは禁止されています。

(例) お中元、お歳暮、入学祝、結婚祝い、お祭りの寄附、餞別等

なお、議員自らが出席する結婚披露宴における祝儀及び葬式・通夜における香典の供与を除き、全て罰則の対象となります。

また、市議会議員に対し、寄附するよう勧誘や要求を行うことも禁止されております。

市民の皆様には、ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



9/30 議員研修会の様子

出典：公益財団法人 明るい選挙推進協会「寄附禁止 正しく守って明るい選挙」、長野県選挙管理委員会ホームページ

手話を学ぼう

「うえだ手話言語・情報コミュニケーション条例」
制定から5年経過しました！
市議会だよりでは、「いま覚えてほしい手話」を
お伝えしています。

今回のテーマは

「おめでとう」「伝えよう」

“長野県ホームページ”
「手話辞典」



「おめでとう」



- ①両手をお腹の前で軽く握る。
- ②上にあげながら手を開く。

「伝えよう」



- ①両手の親指と人差し指で作った輪をつなぎ合わせる。
- ②そのまま前に出す。

議会だよりについてご意見をお聞かせください。

市民の皆様に分かりやすく、読んでいただける議会だよりを目指して
読者アンケートを実施しています。
よりよい紙面を作っていくためにご協力をお願いします。

アンケートの回答はこちらから



編集後記

現在の上田市は財政需要の増大、歳入の停滞、基金の取り崩しを前提とした予算編成など財政上の課題があることから、決算特別委員会として附帯意見を付した上で認定しました。今議会での議論が今後の政策立案や予算編成に生きてくることを期待します。

さて、今号の表紙には天空の絶景スポット「美ヶ原高原」、さるすべりが有名な「信濃寺」、大蛇伝説の残る果栗深谷「お仙ヶ峡」といった武石地域の名所を掲載しました。

来年には新生上田市誕生20周年を迎えます。地域の資源や魅力をさらに磨き、市民の暮らしの質を高め、未来に誇れる上田市を創造していく新たなスタートラインとなります。

広報広聴委員

古市 順子
高田 忍
石合 祐太

紙面の二次元コードはアクセス解析のために Cookie を使用しています。アクセス解析は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。Cookie を無効にすることで、Cookie を用いた収集を拒否することができますので、お使いのデバイスのブラウザの設定をご確認ください。